

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院救急科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

強角膜片摘出における止血困難例の背景因子の検討

2. 対象となる方

2023年1月1日から2024年8月31日の当院救急外来を受診し、強角膜片摘出を行った患者。

3. 研究の目的

広島大学病院では献眼時に全眼球摘出ではなく、全国的にも実施施設の少ない強角膜片摘出を行っている。そのメリットとして、整容的な観点からご遺族の受け入れがしやすい点以外にも出血が少ないという点が挙げられる。しかしながら、摘出後の止血困難症例が続いており、その原因の追求を行うために、止血困難症例と非困難症例の背景を比較し、その要因を検討する。

4. 研究期間

2025年2月（倫理審査委員会承認後）～2026年3月31日（予定）

5. 研究に使用する試料・情報の種類

研究対象者における患者情報（病歴，既往歴，内服薬，患者背景）や血液検査，予測される心停止の原因、当院搬送までの時間や蘇生に要した時間。

6. 研究組織

広島大学病院眼科が主たる研究施設で、当院は研究参加施設です。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院救急科 副部長 岡崎悠治

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院救急科 副部長 岡崎悠治